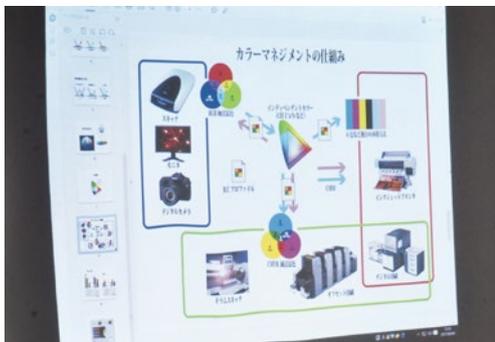


- 講師：渋谷広美
(株式会社博進堂 制作部 画像・品質)
井上秀嗣
(株式会社博進堂 制作部 画像・品質)
- 日時：2017年8月8日(火)13:30~17:00
- 会場：株式会社 博進堂 食堂
- 参加人数：18名

【プログラム】

- 自己紹介：何故、この講座を選んだか？
- 講話：色に関する基本的な知識
- 講話：プロファイルについて
- 実習：写真の補正



色を統一的に管理する方法 カラーマネジメント

今回の講師は、アルバムで使う写真の色を補正している渋谷広美さんと井上秀嗣さんです。どのように色の品質を管理しているのか、興味を持った受講生が多数参加しました。

最初に、色に関する基本的な知識が説明されました。カラーマネジメントシステムとは、印刷機やモニターなど見え方が異なる各デバイスで色を統一的に管理する為のシステムであり、それを実現させているのがプロファイルだと言います。

当社では現在、2009年に作られたプロファイルを使っています。通常、印刷機や紙の変更がある毎に刷新されますが、このデータが使い続けられているのは印刷の頑張りによるものと渋谷さんは言います。

カラーマネジメントシステムによって色の管理はできますが、色の補正作業はオペレーター個人の感性と好みに左右されます。そこで、受講生が同じ画像を補正し、その違いを見比べました。電車の中を写した写真を使用したところ、顔の明るさを優先させる人もいれば車窓の景色を優先させる人もいました。実作業でも写真の状況、オペレーターやお客様の好みによって様々になると言います。受講生にとって補正は初めての作業でしたが、一つ一つ目で見て明確に違いが分かるほど仕上がりが変わるといのは驚きでした。

【講師より】



株式会社博進堂
制作部
渋谷広美

カラーマネジメントとは、色を数値化して、各デバイス間にプロファイルを当てて、同じ色空間を実現するもので、綺麗に印刷するとか、仕上がりの良い色にするものではないです。どのデバイスで見ても同じ色に見える技術が、カラーマネジメントシステムです。皆さんは、カラーマネジメントよりも、後半の色補正の方に興味があったようです。同じ画像でも、人によって、色々な補正がありました。それこそが、その人の感性だと思いますし、仕上がりの良い色(印刷物)は、感性で決まってくるのではないのでしょうか？



株式会社博進堂
制作部
井上秀嗣

「カラーマネジメント」について、色とは正解があってないもの。その仕組みを人に説明する事はとても難しい事でした。実技をもっと増やし体験して頂く事が理解する早道だと思います。準備にあたって自分自身も良い勉強になりました。有り難う御座いました。



CHECK OUT CARD

講師は平時と
言うことが
ぶれていません。
切実な話を
重ねてうかがった
という思いです。

CHECK OUT CARD

かんたんたん
用語説明的
なものを
用意して
ほしかった。

——
自分がやる??
べき

CHECK OUT CARD

人によって
色の補正が
変わる為、正解
が無いのさ
難しいと思っ
ました。

CHECK OUT CARD

色は難しい。

CHECK OUT CARD

ところ
急遽に
なりました。
補正が難しい
ことをわかりました。

CHECK OUT CARD

色補正
見える
物によって
違
う
驚き！

CHECK OUT CARD

基本を学び直さ
ずに
社内用田からの仕事に
役立てたいです。

CHECK OUT CARD

社内各部署の業務を
共有することは、
社内レベルアップに
つながることを感じました。

CHECK OUT CARD

アコという間の
半日でした。
ありがとうございました。

CHECK OUT CARD

より良いものを
作るために、
老眼に見え始める
物の状態が
必要…なのかな？

CHECK OUT CARD

定期的なプロファイルに
ついて、知識を確認
したいとすぐに忘れて
しまいます。
なかなかおぼろがしいです。

CHECK OUT CARD

ありがとうございました。
ございました。

CHECK OUT CARD

ありがとうございました。
ございました。

CHECK OUT CARD

基準は自分
の
色補正



CHECK OUT CARD

自分の基準を作る!!

CHECK OUT CARD

家のパソコン周りの
環境を整えたいと
思いました。

CHECK OUT CARD

撮影セッティングの
マネージメント、
スタッフを
ONにする!!

CHECK OUT CARD

ありがとうございました。

